

# 日本エアコミューター株式会社の事業適応計画のポイント

令和4年2月22日

- 日本エアコミューター株式会社には、公共交通機関として、就航する地域の皆様の生活を支え、地域の発展へ貢献するという使命があるため、新型コロナウイルス感染拡大により大幅な旅客需要の減少に見舞われたものの、就航する地域の皆様の生活を支えるために航空ネットワークを大きく毀損することがないように維持し続けてきた。
- ポストコロナにおいては、日本エアコミューター株式会社の就航路線に適した「ターボプロップ機」を追加導入することにより、事業規模を拡大し、2021年7月の「奄美大島・徳之島の世界自然遺産登録」で注目されている就航地域を中心に、需要拡大を図る。
- さらに、増機にあわせて、新たなコードシェアの実施等による販売力強化、離島路線ネットワークの充実による交流人口拡大等により、収益力を向上し、日本エアコミューター株式会社及び就航地域の持続的な発展を実現する。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

令和4年4月1日～令和9年3月31日

### 2. 生産性向上目標、新需要開拓目標

計画終了年度のEBITDAマージンが、基準年度のEBITDAマージンを5%ポイント以上上回ることを目標とする。

### 3. 前向きな取組の内容

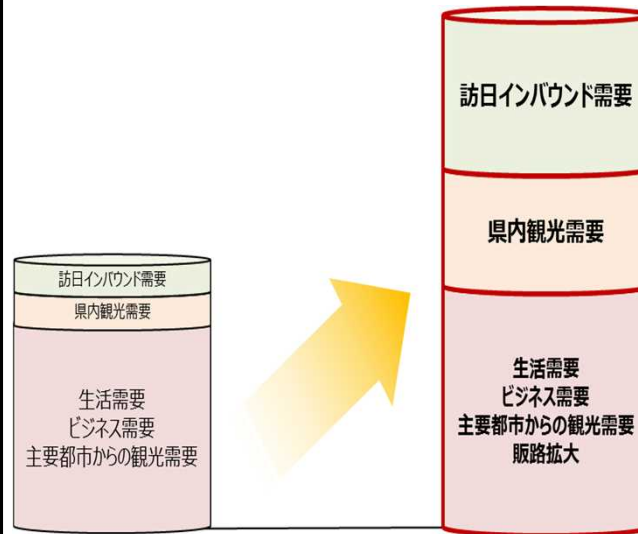
計画終了年度の売上原価をその売上高で除した値を、基準年度の当該値より5%以上低減することを目標とする。

### 4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金控除上限の特例）

## <事業適応計画のイメージ>

### 需要取り込みイメージ



### 路線ネットワーク

